

週間漁海況情報—第27号

平成25年7月8日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

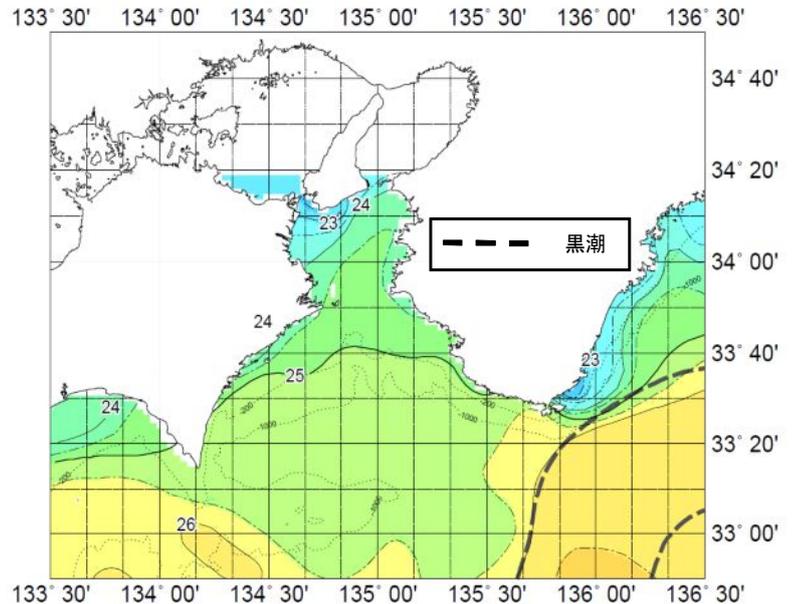
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

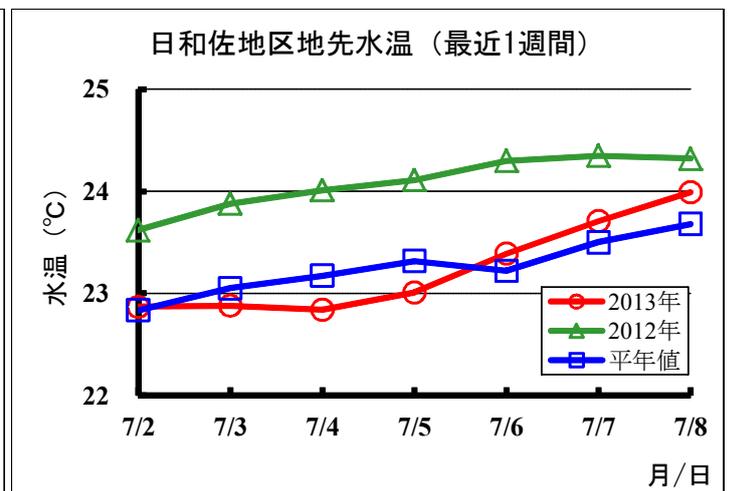
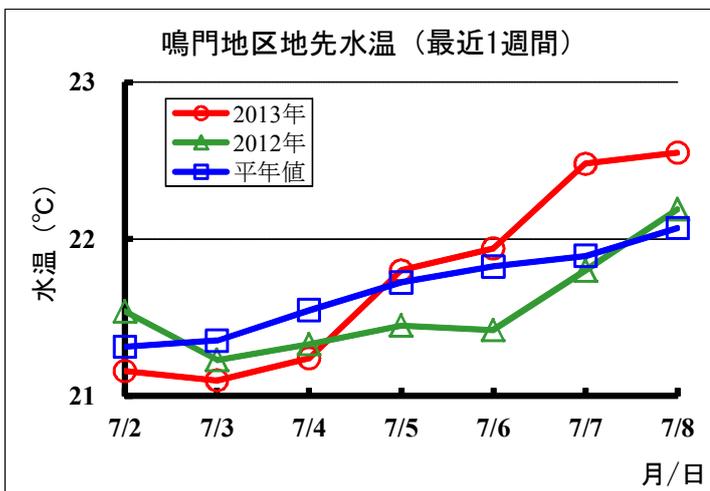
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.7.8）を示した。

黒潮は、室戸岬で著しく離岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で22～24℃台、紀伊水道で22～24℃台、海部沿岸で23～25℃台である。紀伊水道外域への暖水流入は確認できない。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」～「やや高め」の21.1～22.6℃、日和佐地区は「平年並」の22.9～24.0℃、牟岐地区は「平年並」の22.8～23.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.7トン（1日1隻あたり29kg）、ウルメイワシが1.0トン（同30kg）、小小主体にアカカマスが0.2トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが2.2トン（同545kg）、小主体にゴマサバが0.5トン（同123kg）、小小主体にサバ類が0.3トン（同68kg）、小小主体にアカカマスが0.2トン（同58kg）、大主体にシイラが0.3トン（同77kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にイサキが0.2トン（同9kg）、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン（同9kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが23.3トン（同375kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 7月1日～7月7日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	25	737	29	マメ主体
		ウルメイワシ	33	979	30	
		アカカマス	28	200	7	小小主体
大型定置網	海部沿岸	マアジ	4	2,178	545	マメ主体
		ゴマサバ	4	493	123	小主体
		サバ類	4	270	68	小小主体
		アカカマス	4	233	58	小小主体
		シイラ	4	307	77	大主体
		イサキ	26	240	9	大主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	37	349	9	特大主体
		シラス	62	23,250	375	
パッチ網						

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月2日～7月8日には、海部沿岸では、延縄で、小主体にアカムツ0.3トン、小型定置網で、マイワシが2.1トン、ウルメイワシが0.7トン、マメ主体にマアジが1.0トン、小小主体にカマス類が0.4トン、小主体にトビウオ類が0.2トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが1.4トン、大主体にゴマサバが0.2トン、ウルメイワシ主体にイワシ類が2.1トン、マルソウダが0.3トン、釣りで、中・大主体にカツオが0.5トン、中主体にキハダが0.7トン、大主体にゴマサバが0.4トン、紀伊水道では、釣りで、特大主体にタチウオが0.7トン、パッチ網で、シラスが62.0トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「著しく離岸」～「かなり離岸」、潮岬沖において、「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の22～23℃台、日和佐地先で「平年並」の23～24℃台で推移する見込み。